

福岡県におけるひきこもり等に関する調査  
調査結果

令和4年7月

福岡県保健医療介護部健康増進課

こころの健康づくり推進室



# 第 1 調査の概要

## 1 調査の目的

県内におけるひきこもり等の状況を把握し、今後の施策の基礎資料とするもの。

## 2 調査の方法等

### (1) 調査の対象

政令指定都市を除く県内 58 市町村の民生委員・児童委員 4,932 人

### (2) 調査の方法

民生委員・児童委員が、担当する地区において日頃の活動を通じて把握しているひきこもり状態にある方(※)の状況についてアンケートに回答。

※この調査では、6か月以上連続して、次のいずれかに該当する方を「ひきこもり状態にある方」とした。(H30 年度内閣府「生活状況に関する調査 (ひきこもりの実態調査)」による)

- ・自室からは出るが家からは出ない、または、自室からほとんど出ない
  - ・ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける
  - ・ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する
- ただし、重度の障がいや重度の疾病で外出できない場合を除く

### (3) 調査の期間

令和 3 年 7 月～令和 4 年 3 月

### (4) 回収結果

調査票送付数	4,932 人
回収数	3,466 人
回収率	70.3%

## 3 調査事項

- (1) 民生委員・児童委員によるひきこもり状態にある方の把握状況
- (2) ひきこもり状態にある方の状況
- (3) 民生委員・児童委員の状況

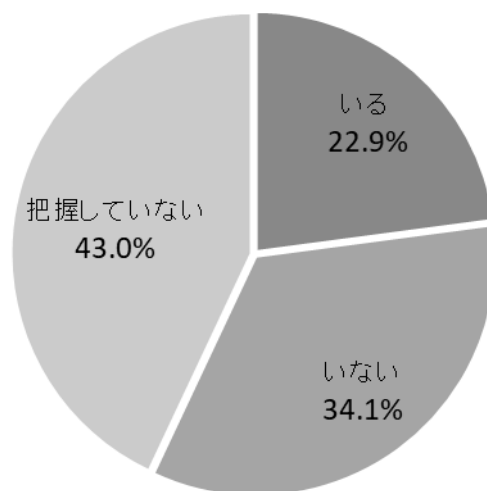
## 第2 調査の結果

### 1 民生委員・児童委員によるひきこもり状態にある方の把握状況

民生委員・児童委員（以下、「委員」という。）のうち、自身の担当地区にひきこもり状態にある方が「いる」と回答した人の割合は 22.9%となっている。

一方、「いない」と回答した人の割合は 34.1%、「把握していない」と回答した人の割合は 43.0%となっている。

項目	回答数	割合
いる	795	22.9%
いない	1,181	34.1%
把握していない	1,490	43.0%
合計	3,466	100.0%



### 2 ひきこもり状態にある方の状況

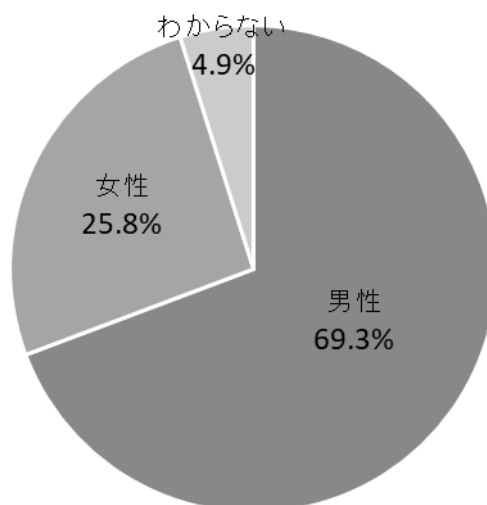
1で「いる」と回答した場合は、委員が把握しているひきこもり状態にある方の状況について調査を行った。

調査の結果、委員が把握しているひきこもり状態にある方の人数は 1,188 人であった。

#### (1) 性別

「男性」が 69.3%、「女性」が 25.8%、「わからない」が 4.9%となっている。

項目	人数	割合
男性	823	69.3%
女性	307	25.8%
わからない	58	4.9%
合計	1,188	100.0%

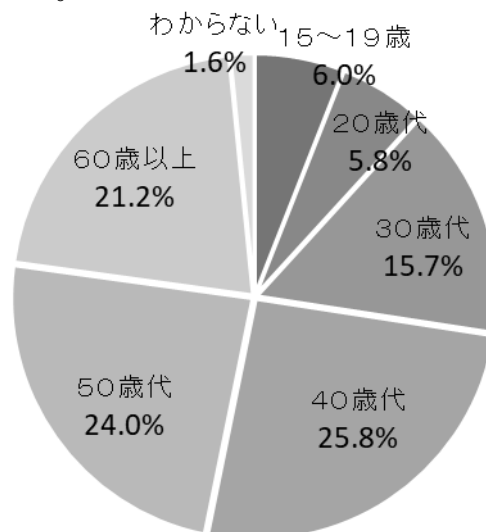


## (2) 年代

40歳代が最も多く25.8%、次いで50歳代が24.0%、60歳以上が21.2%となっている。

40歳代以上で全体の7割以上を占めている。

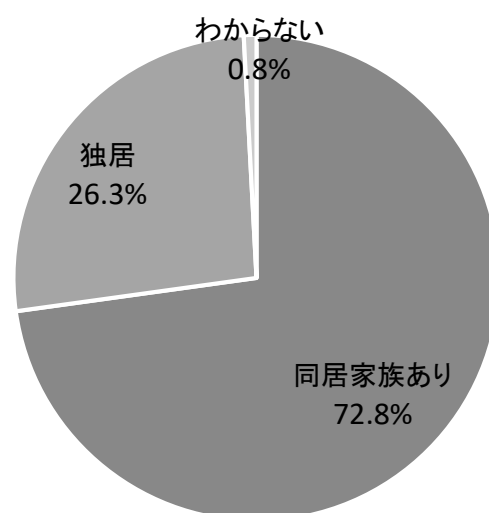
項目	人数	割合
15～19歳	71	6.0%
20歳代	69	5.8%
30歳代	186	15.7%
40歳代	306	25.8%
50歳代	285	24.0%
60歳以上	252	21.2%
わからない	19	1.6%
合計	1,188	100.0%



### (3) 家族構成

全体の7割以上が家族と同居しており、その内訳は親との同居が最も多くなっている。また、「独居」は全体の26.3%となっている。

項目	人数	割合
同居家族あり	865	72.8%
父親	426	35.9%
母親	665	56.0%
祖父	29	2.4%
祖母	58	4.9%
配偶者	27	2.3%
子	118	9.9%
その他	178	15.0%
独居	313	26.3%
わからない	10	0.8%
合計	1,188	100.0%

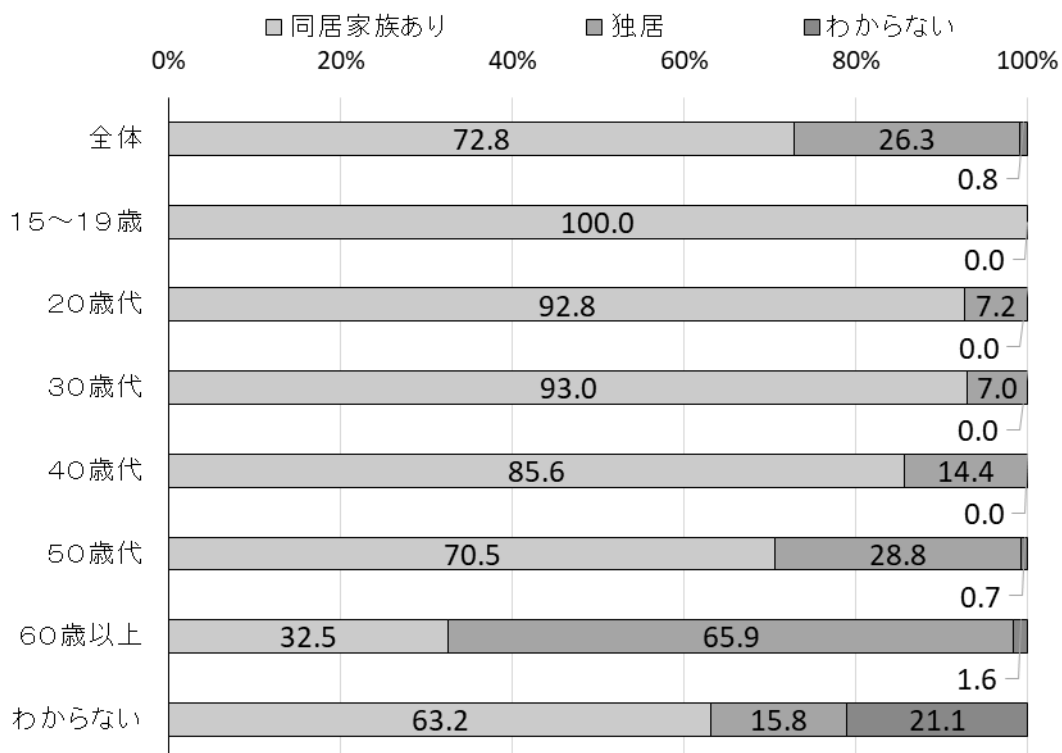


※同居家族はあてはまるものを全て選択

その他：兄弟・姉妹、叔母

#### (3) - 1 年代別の家族構成

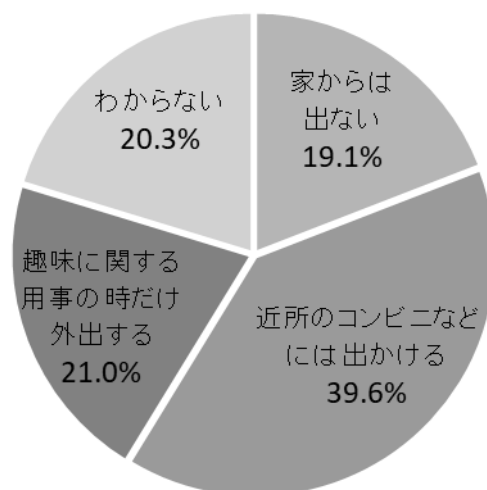
50歳代から「独居」の割合が増え、60歳以上は65.9%となっている。



#### (4) 現在の状況

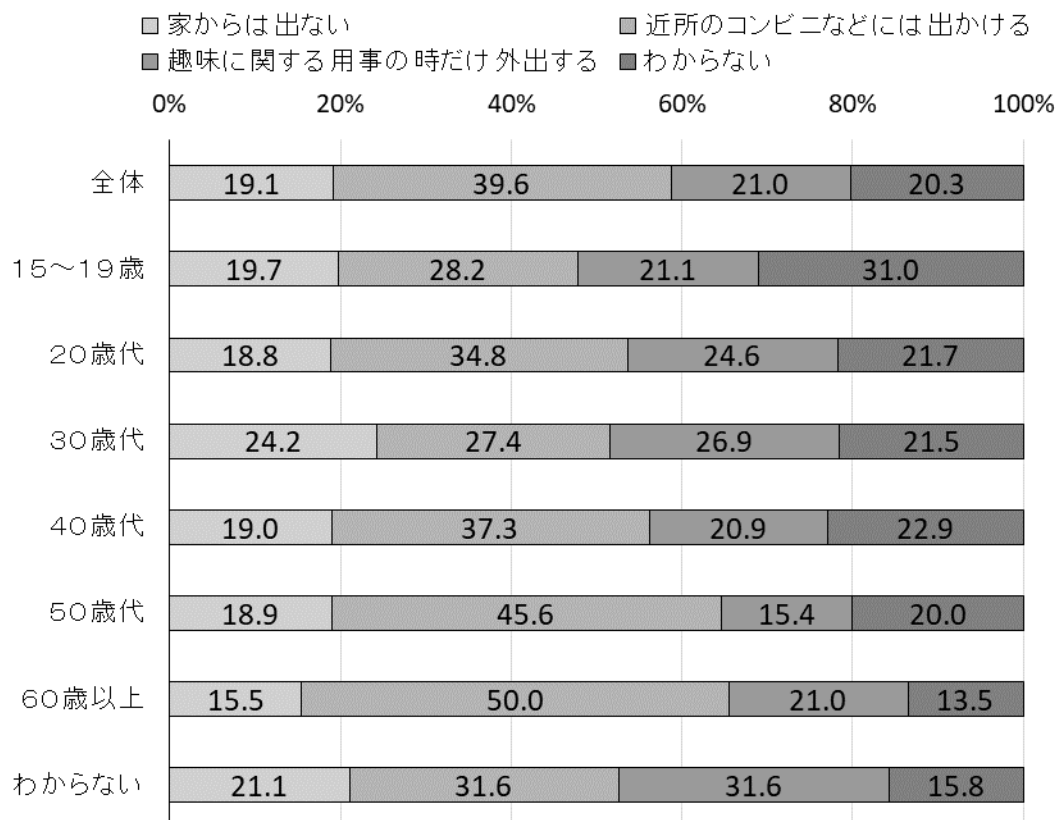
「近所のコンビニなどには出かける」が39.6%で最も多い。次いで、「趣味に関する用事の時だけ外出する」は21.0%となっている。一方「家からは出ない」は19.1%となっている。

項目	人数	割合
家からは出ない	227	19.1%
近所のコンビニなどには出かける	471	39.6%
趣味に関する用事の時だけ外出する	249	21.0%
わからない	241	20.3%
合計	1,188	100.0%



#### (4) - 1 年代別の現在の状況

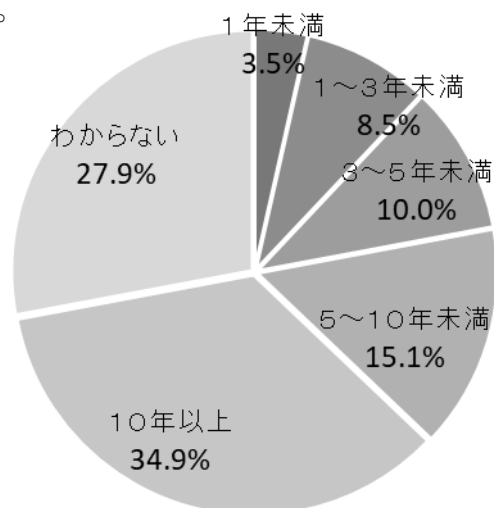
「家からは出ない」の割合が最も多いのは30歳代で24.2%、次いで15～19歳で19.7%となっている。



### (5) ひきこもっている期間

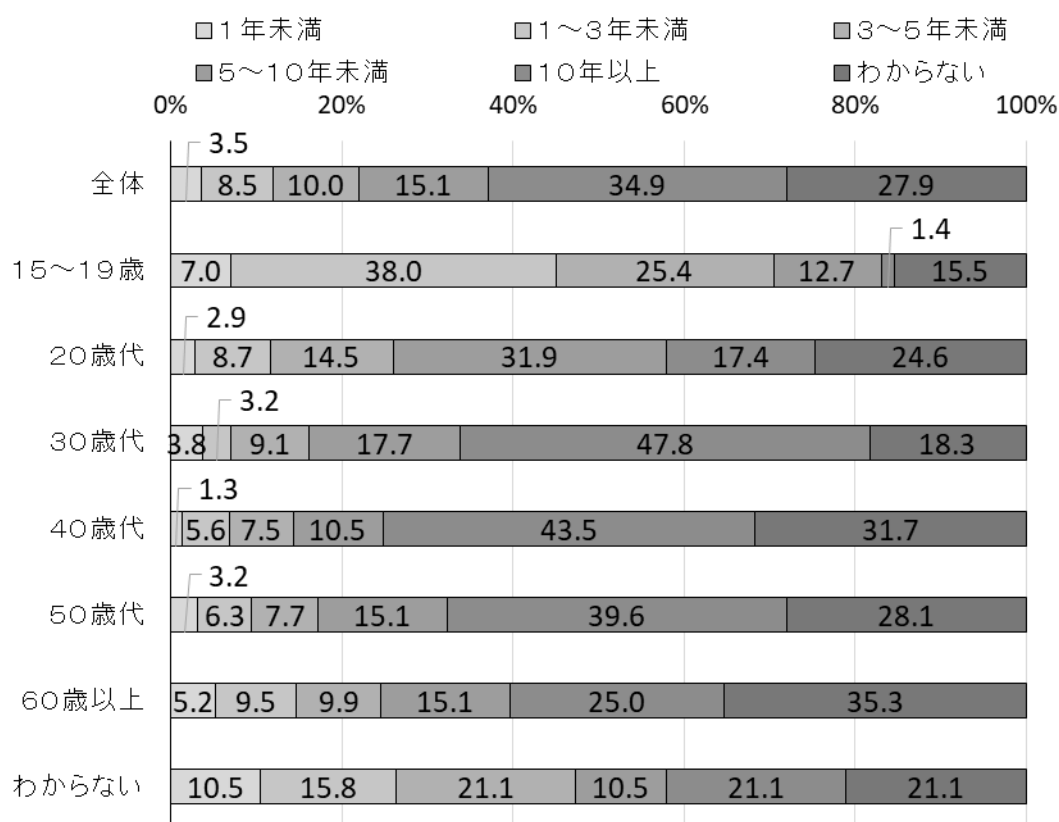
「10年以上」が34.9%と最も多く、次いで「わからない」が27.9%、「5～10年未満」が15.1%となっている。

項目	人数	割合
1年未満	42	3.5%
1～3年未満	101	8.5%
3～5年未満	119	10.0%
5～10年未満	179	15.1%
10年以上	415	34.9%
わからない	332	27.9%
合計	1,188	100.0%



#### (5) - 1 年代別のひきこもっている期間

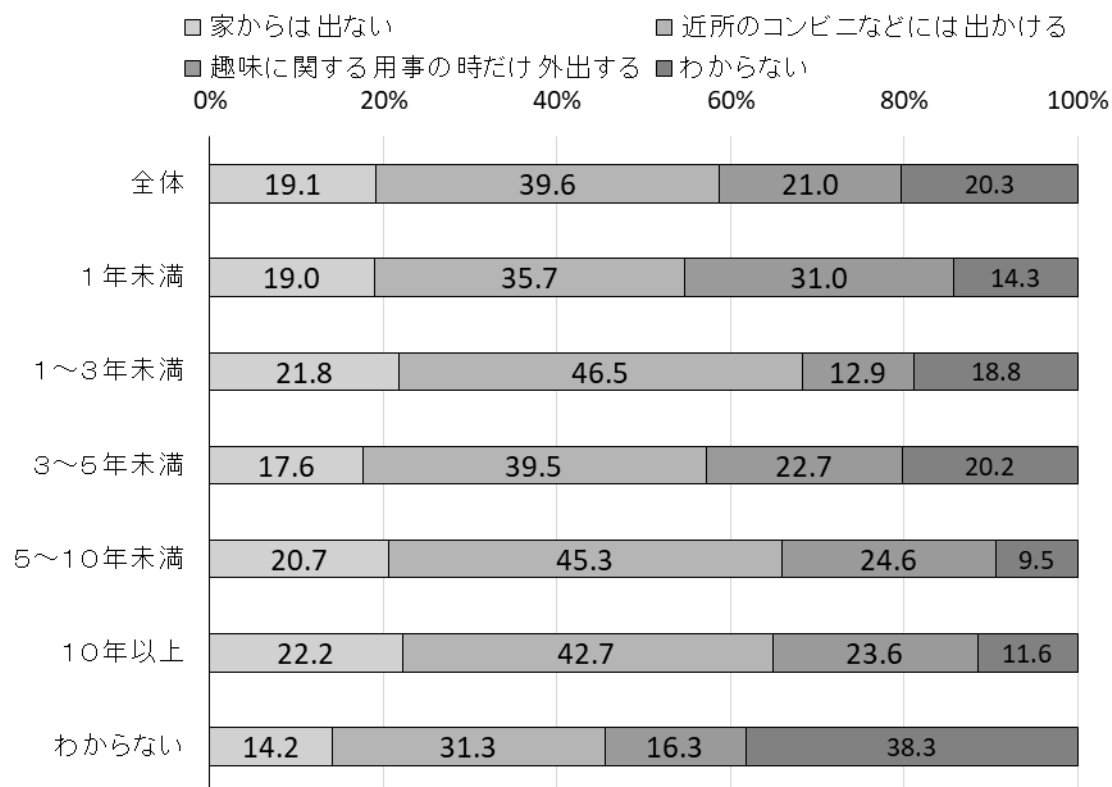
30歳代以上の年代において「10年以上」が多くなっている。





### (5) - 2 ひきこもっている期間別の現在の状況

ひきこもっている期間が「10年以上」の人は、「家から出ない」が22.2%と多く、次いで「1～3年未満」で21.8%となっている。



## (6) ひきこもりに至った経緯（複数回答）

「本人の疾病、性格」に起因するものが32.8%と最も多く、次いで「失業した」が14.8%、「家族や家庭環境の問題」が13.6%となっている。

(n=1,188)

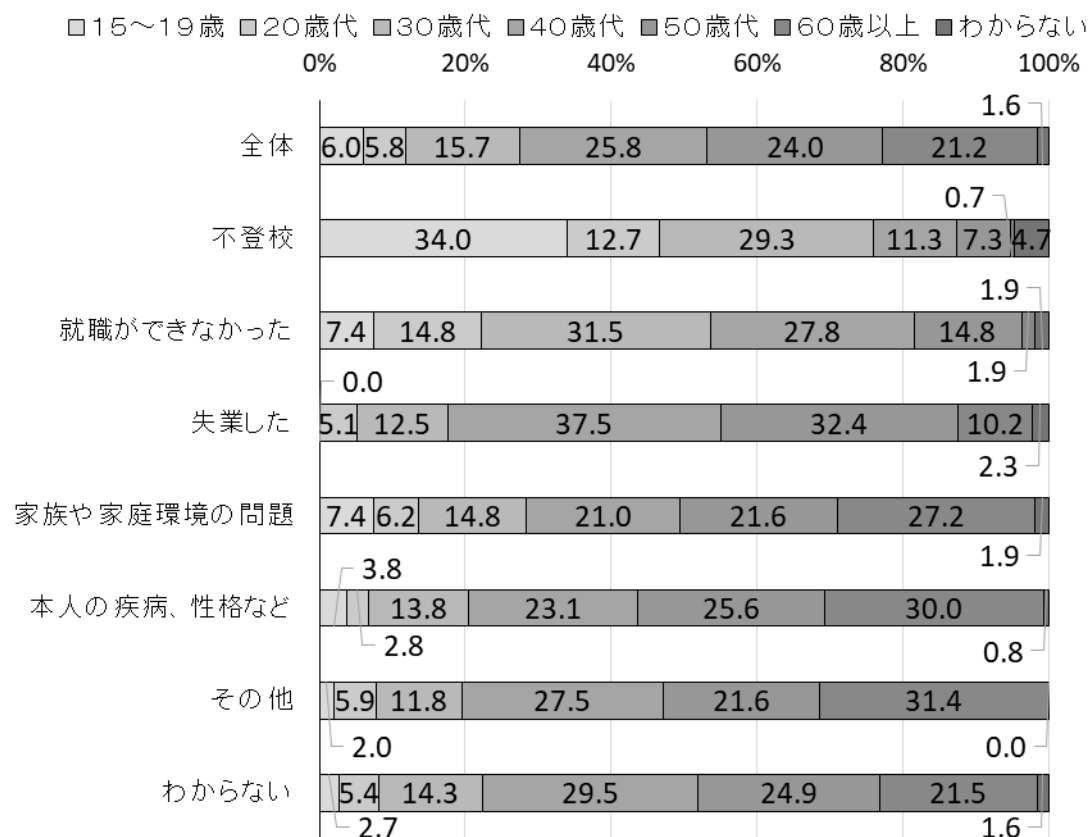
項目	回答数	割合
不登校	150	12.6%
就職ができなかった	54	4.5%
失業した	176	14.8%
家族や家庭環境の問題	162	13.6%
本人の疾病、性格など	390	32.8%
その他	51	4.3%
わからない	441	37.1%

※あてはまるものを全て選択

その他：親族を亡くしたショック、SNS上での批判など

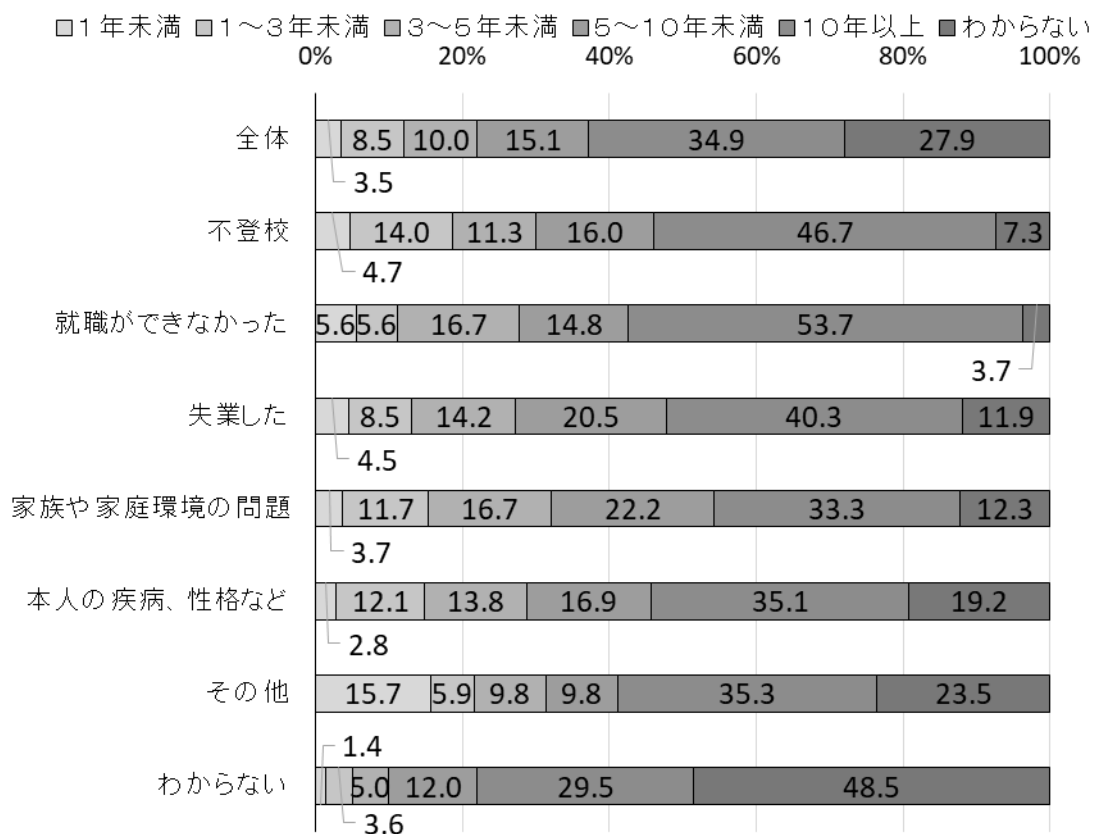
### (6) - 1 ひきこもりに至った経緯別の年代

「不登校」では「15～19歳」が34.0%と最も多く、「就職ができなかった」「失業した」では、「30歳代」から「50歳代」において多くなっている。



## (6) - 2 ひきこもりに至った経緯別のひきこもっている期間

「就職できなかった」では、「10年以上」ひきこもっている割合が半数以上となっている。また、同様に「不登校」でも、46.7%と多くなっている。



## (7) 本人が受けている支援の有無

「支援は受けていない」が28.9%と最も多くなっている。

支援を受けている方については、「行政機関等の支援」が14.7%と最も多く、次いで「精神科等の支援」で10.9%となっている。

項目	人数	割合
支援を受けている※	306	25.8%
支援は受けていない	343	28.9%
わからない	539	45.4%
合計	1,188	100.0%

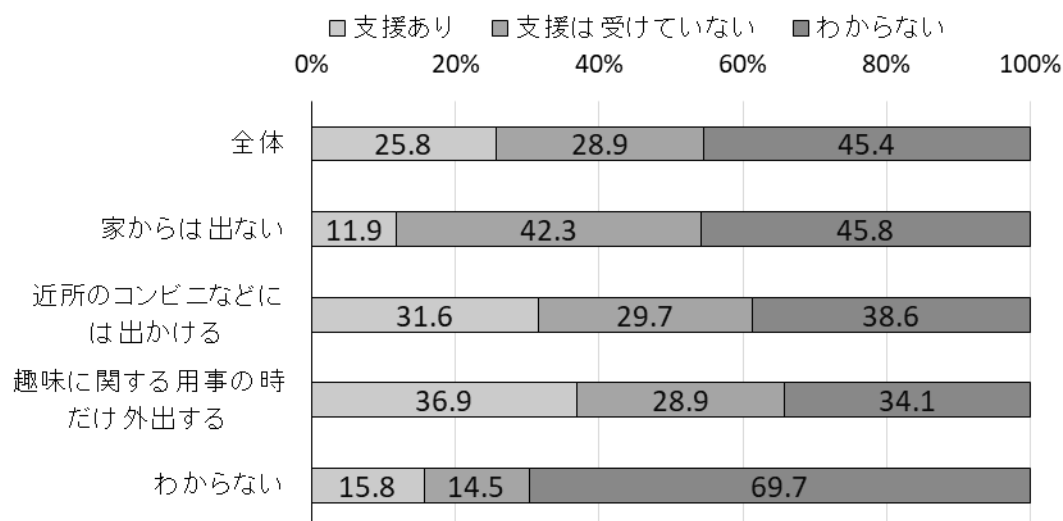
(複数回答) (n=306)

※本人が支援を受けている機関	人数	割合
精神科等	130	42.5%
行政機関等	175	57.2%
NPO等	13	4.2%
その他	50	16.3%

その他：民生委員・児童委員、家族や親族の支援など

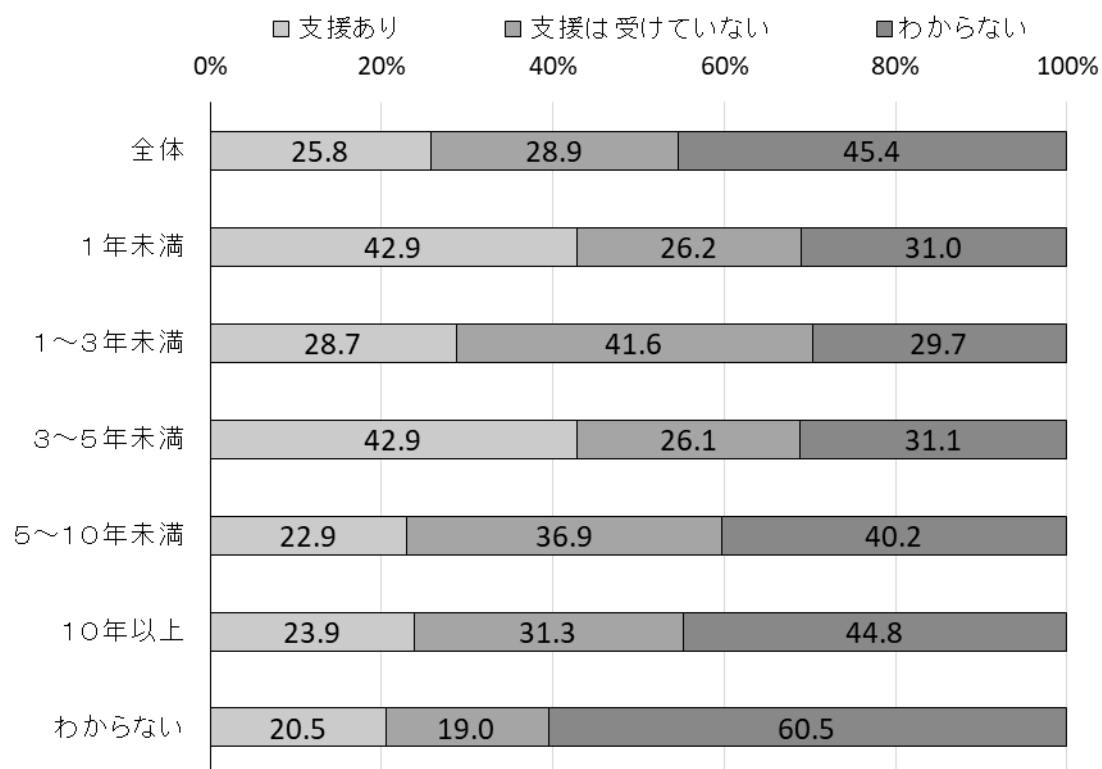
### (7) -1 現在の状況別の本人が受けている支援の有無

「家からは出ない」は、全体と比較して支援を受けていない方の割合が多くなっている。



## (7) - 2 ひきこもっている期間別の本人が受けている支援の有無

ひきこもっている期間が5年以上は、支援を受けている割合が少なくなっている。



### 3 民生委員・児童委員の状況

#### (1) 「福岡県ひきこもり地域支援センター」及び「サテライトオフィス」の認知

「福岡県ひきこもり地域支援センターを知っている」のは12.6%、「サテライトオフィスを知っている」のは5.1%であった。一方で、78.4%が「どちらも知らなかった」と回答している。

(n=2,961)

項目	回答数	割合
ひきこもり地域支援センターを知っている	374	12.6%
サテライトオフィスを知っている	150	5.1%
どちらも知っている	115	3.9%
どちらも知らなかった	2,322	78.4%

#### (2) 地域に必要と思われる社会資源や取組み

ひきこもり状態にある方やそのご家族の支援として、委員が地域に必要なと思われる社会資源や取組みについては、「相談・支援窓口の周知」(52.6%)、「専門的な医療支援・カウンセリング等の充実」(45.1%)、「相談窓口の充実」(39.0%)が必要であるとの意見が多かった。

(n=3,466)

項目	回答数	割合
相談窓口の充実	1,351	39.0%
相談・支援窓口の周知	1,823	52.6%
訪問による支援	1,072	30.9%
専門的な医療支援・カウンセリング等の充実	1,562	45.1%
民間支援団体の充実	455	13.1%
居場所（学習・交流の場）の充実	1,201	34.7%
中間就労の場（作業所等）の充実	590	17.0%
就労準備支援（生活リズムを整える、就労体験等）	1,005	29.0%
就労支援（就職活動への支援）	1,011	29.2%
働く場の充実	639	18.4%
その他	180	5.2%

※あてはまるものをすべて選択

その他：オンラインでの相談体制、民生委員の見守り、学校との連携など

### **(3) その他自由記述**

- ・身近で相談しやすい窓口が必要
- ・地域におけるネットワークの構築が必要
- ・行政をはじめとする支援者間の連携や、長期的できめ細やかな支援が必要
- ・ひきこもり等を偏見なく受け入れる社会をつくることが重要
- ・ひきこもり等の把握が困難
- ・本人と関わるのが困難
- ・ひきこもり等の状況を家族が隠す場合がある
- ・家族のケアが大切

本調査で、民生委員・児童委員に配布した調査票は以下のとおり。

問1 あなたの活動地域を教えてください。

市町村名（ ） 校区名（ ）

問2 あなたの担当地区に、6か月以上連続で、次のいずれかに該当する方がいますか。  
該当する番号を回答欄に記入してください。

- |                                                                                                                                                            |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| (1) ふだんは家にいるが、自分の趣味に関する用事の時だけ外出する<br>(2) ふだんは家にいるが、近所のコンビニなどには出かける<br>(3) 自室からは出るが家からは出ない、または、自室からほとんど出ない<br>① <del>い</del> ただし、重度の障がいや重度の疾病で外出できない場合を除きます |
|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|

② いない

③ 把握していない

問3 問2で「いる」と回答した方にお尋ねします。その方の状況を別紙に記入してください。

○ 把握しているお一人ごとの状況を、別紙の表の縦一列（ア～オ）に記入してください。

○ 項目ごとに該当する番号（①～⑧）を記入してください。

○ 項目3、6及び7で「その他」を選択した場合は、具体的な内容を記入してください。

問4 ひきこもり状態の方やそのご家族への支援として、あなたの地域に必要なと思う社会資源や取組について、該当する番号をすべて回答欄に記入してください。

① 相談窓口の充実

② 相談・支援窓口の周知

③ 訪問による支援

④ 専門的な医療支援・カウンセリング等の充実

⑤ 民間支援団体の充実

⑥ 居場所（学習・交流の場等）の充実

⑦ 中間就労の場（作業所等）の充実

⑧ 就労準備支援（生活リズムを整える、就労体験等）

⑨ 就労支援（就職活動への支援）

⑩ 働く場の充実

⑪ その他（\*）

（\*「⑪その他」を選択した場合は、必要と思われる内容を具体的にご記入ください。）



問5 福岡県では、ひきこもり状態のご本人や家族、支援者からの相談に対応するため福岡県精神保健福祉センター内に「福岡県ひきこもり地域支援センター」を設置しています。また、令和2年7月には、田川市に「筑豊サテライトオフィス」、久留米市に「筑後サテライトオフィス」を新たに設置しました。

これらの支援機関をご存じですか。該当する番号をすべて記入してください。

- ①福岡県ひきこもり地域支援センターを知っている
- ②サテライトオフィスを知っている
- ③どちらも知らなかった

問6 その他、ご意見やお気づきの点がありましたら、自由にご記入ください。

別紙

問3

\*各項目について該当する番号(①~⑧)を記入してください。

項目	ア	イ	ウ	エ	オ
1 性別 ①男性 ②女性					
2 年齢(分からない場合は推測で選択してください) ① 15歳~19歳 ② 20歳代 ③ 30歳代 ④ 40歳代 ⑤ 50歳代 ⑥ 60歳以上					
3 家族構成(該当番号をすべて記入してください) ① 父親 ② 母親 ③ 祖父 ④ 祖母 ⑤ 配偶者 ⑥ 子 ⑦ 独居 ⑧ その他					
4 該当する方の状況 ① 趣味に関する用事の時だけ外出する ② 近所のコンビニなどには出かける ③ 家からは出ない ④ わからない					
5 ひきこもっている期間 ① 1年未満 ② 1~3年未満 ③ 3~5年未満 ④ 5~10年未満 ⑤ 10年以上 ⑥ わからない					
6 ひきこもりに至った経緯(該当番号をわかる範囲で、すべて記入してください。) ① 不登校 ② 就職ができなかった ③ 就職したが失業した ④ 家族や家庭環境の問題 ⑤ 本人の疾病、性格など ⑥ その他(具体的に記入) ⑦ わからない					
7 本人が受けている支援(該当番号をわかる範囲で、すべて記入してください。) ① 精神科等の支援 ② 行政機関等の支援 ③ NPO等の支援 ④ 支援は受けていない ⑤ その他(具体的に記入) ⑥ わからない					